

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2020年2月分)

2020年3月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[スルプスカ共和国\(RS\)農地法の違憲判決をめぐり国内対立が深刻化\(7, 17, 25日\)](#)

●[BHへの移民・難民の流入数拡大の懸念\(28日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[フォルト・サラエボ・カントン政権が退陣\(5日\)](#)

イ. スルプスカ共和国(RS)

●[セルビア系野党, 10月の統一地方選挙における選挙協力につき協議\(24日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[グテーレス国連事務総長, スレブレニツァ25周年追悼式典に出席の意向\(4日\)](#)

(2) 二国間関係

●[コムシッチ大統領評議会議長, フランシスコ・ローマ教皇と会談\(16日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[日本が支援する「サラエボ・グリーン・カントン・アクション・プラン」に関連する署名式典の実施\(5日\)](#)

●[坂本大使のラドンチッチ治安大臣との会談\(6日\)](#)

●[坂本大使のテゲルティヤ閣僚評議会議長との会談\(10日\)](#)

●[天皇誕生日祝賀レセプションの開催\(20日\)](#)

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●[閣僚評議会, 2020~22年の社会・経済改革計画案を承認\(1月30日\)](#)

(2) 経済協力

●[EUと欧州投資銀行, 高速道路欧州回廊5c線の建設に共同資金援助\(27日\)](#)

(3) 民間セクター

●[BHの経済成長率, 2020~22年は漸増傾向の予測\(1月30日\)](#)

●[BH, 2019年の観光客数の伸び率で世界第14位\(10日\)](#)

●[対BH外国直接投資額, 2020年も漸増傾向を維持の見通し\(21日\)](#)

(注: 本月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

● 人権・難民大臣の任命に更なる遅れ(4日)

昨年12月に発足したBH閣僚評議会(注: 内閣に相当)で任命が延滞している人権・難民大臣につき、BH議会下院はこの日に予定されていたボジョビッチ候補(セルビア系与党第二党民主人民同盟(DNS)による推薦)の指名承認採決を再び延期。セルビア系与党第一党SNSDが同候補の早期承認を要求しているのに対し、ボシュニャク系与党SDAは同承認に対して難色を示し、セルビア系連立与党に対して候補者の差し替えを要求している。

● スルプスカ共和国(RS)農地法の違憲判決をめぐり国内対立が深刻化(7, 17, 25日)

RS政府による同エンティティ内の農用地占有化を定めたRS農地法をBH憲法裁判所が違憲とした判決(7日)に対し、セルビア系各党が反発し、対応がエスカレート。17日、RS国民議会はBH憲法裁の外国人判事3人がRSに不利益な司法運営に荷担しているとして、同外国人判事制度の廃止を要求。25日には、セルビア系与党SNSDなどが同制度の廃止に関する法案をBH議会に提出しており、同党は、同法案がBH議会で成立するまでの間、セルビア系野党と共に国レベルの政治参加を停止する方針を示している。

● BHへの新たな移民・難民の流入数拡大の懸念(28日)

トルコ国内に滞留する移民・難民に対し、同国政府がギリシャとの国境を開放する方針を発表したことを受け、BH政府はギリシャを経由してBHへ流入する移民・難民数の更なる拡大を懸念。国際移住機関(IOM)のBH事務

所によれば、今回の国境開放によりBHへの移民・難民流入数は今後最大で一日1万人規模にまで拡大する可能性がある。ラドンチッチBH治安相は、EUと協力し今後の事態に対処していく方針を示した。

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

● フォルト・サラエボ・カントン政権が退陣(5日)

「人民と正義」(NiP)および「我々の党」(NS)主導のフォルト・サラエボ・カントン政権(2018年～)に対し、同カントン議会が国政与党SDAなどの賛成多数により不信任決議を採択(1月29日)したことを受け、フォルト首相(NS所属)が辞任。SDAなどの新与党連合は既に新政権の閣僚人事に着手しており、同党主導の新政権の発足待ち。(注: 3月3日、SDA主導のネナディッチ(連立与党「よりよき未来のための同盟」(SBB)所属)政権が発足。)

イ. スルプスカ共和国(RS)

● RS要人、ブチッチ・セルビア大統領と会談(14日)

ドディック大統領評議会セルビア系メンバーおよびツビヤノビッチRS大統領がベオグラードを訪問し、同国のブチッチ大統領と会談。同会談にはイリネイ・セルビア正教会主教等も同席。会談でブチッチ大統領は、RSに対するセルビア政府の支援を約束した。

● セルビア系野党、10月の統一地方選挙における選挙協力につき協議(24日)

セルビア系野党第一党のセルビア民主党(SDS)および同第二党の民主進歩党(PDP)が、本年10月に予定されている統一地方選

挙における両党の選挙協力につき協議。このなかで、シャロビッチSDS党首およびボレノビッチPDP党首は、RSの最大都市であるバニャ・ルカ市の市長選挙における統一候補擁立の方針についても協議(注:現市長はセルビア系与党SNSD所属。)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●グテーレス国連事務総長、スレブレニツァ25周年追悼式典に出席の意向(4日)

グテーレス国連事務総長が、本年7月11日に開催予定のスレブレニツァ・ジェノサイド25周年追悼式典へ出席する意向を発表。

●西バルカン諸国首脳とEU首脳の非公式夕食会合の開催(16日)

コムシッチ大統領評議会議長(クロアチア系、元首)が、ブリュッセルで開催された西バルカン諸国首脳とEU首脳の非公式夕食会合に出席。同会合にはフォン・デア・ライエン欧州委員会委員長も出席。会合後、コムシッチ議長は記者団に対し、EUが策定を進めている新たな加盟交渉手続きなどを中心に、西バルカン諸国のEU加盟プロセスにつき話し合った旨述べた。

(2) 二国間関係

●チョービッチBH議会上院議長のロシア訪問(10~11日)

チョービッチBH議会上院議長(クロアチア与党HDZ党首)がロシアを訪問し、同国のマトビエンコ露連邦議会上院議長と会談、両国議会間の協力推進などにつき話し合った。

●コムシッチ大統領評議会議長、フランシスコ・ローマ教皇と会談(16日)

コムシッチ大統領評議会議長がバチカンを訪問し、フランシスコ・ローマ教皇と会談、BH国内のカトリック教会の現状のほか、BHの欧州・大西洋統合の見通しにつき話し合った。

●チャールズ英国皇太子、BH訪問を予定(26日)

在BH英国大使館は、同国のチャールズ皇太子(ウェールズ公)が3月17~18日の日程でBHを訪問予定である旨を発表。滞在中、チャールズ皇太子はサラエボのほか、本年7月でスレブレニツァ・ジェノサイド25周年を迎えるスレブレニツァ市(RS)を訪問する予定。(注:3月13日、コロナウイルスの影響により、同訪問の中止が発表された。)

(3) 日・BH関係

●日本が支援する「サラエボ・グリーン・カントン・アクション・プラン」に関連する署名式典の実施(5日)

坂本駐BH日本大使は、ベバンダBH財務大臣からの招待に応じ、BH政府がサラエボ・カントン(注:県に相当)の公共交通の環境基準向上に向け、欧州復興開発銀行(EBRD)との間で結んだ長期融資計画の署名式典に出席。EBRDによるBH政府向け本件長期融資は、日本政府がサラエボ県公共交通の環境対策支援として30万ユーロを拠出し策定した「サラエボ・グリーン・カントン・アクション・プラン」に基づき実現したものである。



(写真: EBRDとBH政府による署名式)

●坂本大使のラドンチッチ治安大臣との会談(6日)

坂本駐BH日本大使は、ラドンチッチBH治安大臣と会談し、様々な分野における二国間関係の促進につき話し合った。坂本大使からは、「西バルカン協カイニシアティブ」のもと、防災分野などにおける両国間協力の発展に対する期待を述べた。これに対しラドンチッチ大臣は、BHの防災・災害救助に対する日本の支援に謝意を述べるとともに、BHの国境管理における二国間協力拡大への期待を述べた。



(写真: 坂本大使とラドンチッチ治安大臣)

●坂本大使のテゲルティヤ閣僚評議会議長との会談(10日)

坂本駐BH日本大使は、テゲルティヤ閣

僚評議会議長(注:首相に相当)と会談し、様々な分野における二国間関係の発展につき話し合った。坂本大使が「西バルカン協カイニシアティブ」などに基づく二国間関係の発展および民間セクターにおける協力深化への期待を述べたのに対し、テゲルティヤ議長は日本からの対BH投資拡大に向けたBHの投資環境改善への意気込み等を述べた。



(写真: 坂本大使とテゲルティヤ閣僚評議会議長)

●天皇誕生日祝賀レセプションの開催(20日)

坂本駐BH日本大使の主催で、天皇誕生日祝賀レセプションが催行。同レセプションにはポジッチBH国防大臣をはじめ、多数のBH政府関係者、当地外交団、経済・学術関係者等が出席。坂本大使は冒頭の挨拶において、近年の日本の対BH経済開発協力および両国間の文化交流の進展を紹介するとともに、本年夏の東京オリンピック・パラリンピック大会におけるBH選手団の活躍への期待を述べた。



(写真:坂本大使による冒頭挨拶)

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

●閣僚評議会, 2020~22年の社会・経済改革計画案を承認(1月30日)

BH閣僚評議会は、BHの投資環境改善および近年深刻化する同国若年層の国外流出問題への対策案などをまとめた、向こう3年間の「BH経済改革計画2020~2022年」(Economic Reform Program of Bosnia and Herzegovina 2020-2022)を承認。なお、閣僚評議会に先立ちBH連邦およびスルプスカ共和国の両エンティティ政府も既に同計画案を承認しており、今後、国および両エンティティの政府が各行政レベルにおいて同計画の実施に着手する見通し。

(2) 経済協力

●EUと欧州投資銀行, 高速道路欧州回廊5c線の建設に共同資金援助(27日)

EUと欧州投資銀行(EIB)は、BH政府との間で、高速道路欧州回廊5c線の建設に対する対BH共同資金援助の実施につき合意。同援助パッケージの総額は2億400万ユーロ規模で、そのうちEUが6,400万ユーロ、EIBが1億4,000万ユーロを拠出する方針。同資金は今後、トンネルおよび高架橋などを含む12.4キロメートル区間分の建設に充てられる予

定。

(3) 民間セクター

●BHの経済成長率, 2020~22年は漸増傾向の予測(1月30日)

BH閣僚評議会が承認した「経済改革計画2020~2022年」によれば、向こう3年間のBHの経済成長率は、今年(20年)にプラス3.5%を記録したのち、21年に同3.6%、22年に同3.8%と推移し、プラス成長を維持する見通し。

●BH, 2019年の観光客数の伸び率で世界第14位(10日)

国連世界観光機関(UNWTO)が発表した2019年の国ごとの観光客数の伸び率に関するデータによれば、BHを訪れた観光客数の伸び率は前年(18年)からプラス13.7%で、世界第14位。なお、同第1位はミャンマーで伸び率40%であったほか、西バルカン諸国ではモンテネグロが最高で、同第5位。

●対BH外国直接投資額, 2020年も漸増傾向を維持の見通し(21日)

BH経済企画庁は、2020年の対BH外国直接投資(FDI)額が、2019年投資額からの漸増傾向を維持し、同国のGDP比で2.4%程度になるとの見通しを発表。同庁によれば、エネルギー、インフラ、および観光分野に対する投資額の増加傾向は、今後も堅調に推移する見込み。